

## 編集後記

本号では、船橋誠壽副会長の取り纏めによりミニ特集「システムデザイン力を展望する」を組ませて頂きました。昨年7月に行われた横幹技術フォーラムで御講演頂いた内容を基としています。巻頭言では船橋副会長が「超スマート社会」の実現に向けたシステムデザイン力を明快に解説しており、デザイン力というものがいかに重要なものであり、本ミニ特集がまさに横幹のメイン課題であることがわかり頂けます。田浦俊春先生、古谷純先生、青山和浩先生、大泉和也先生、古賀毅先生、長谷部伸治先生には解説記事をご執筆頂きました。デザインという行為がアートの世界に通じる真に創造的な作業であることがわかり、大変勉強になりました。執筆者の皆様方に深く感謝いたします。

さらに、石井信明先生、高野祐一先生、村木正昭先生の共著で和文題名「見積もり工数制約下におけるEPCプロジェクト入札価格決定改定アルゴリズム」という英文の大変読み応えのある原著論文をご

投稿頂きました。可視化情報学会からは会員学会紹介記事を頂き、学会名通りの興味深いカラー画像も拝見できました。

本号はJ-STAGE登録に伴う初めての電子ジャーナルとしての発行となりました。今回からは発行と同時に無料で広く一般に公開となっています。世の中への発信力は格段に強くなったと言えます。横幹連合の会員学会のメンバーの皆様も手軽に雑誌「横幹」を読むことができます。今後、編集委員会としては今まで以上に内容の充実した雑誌としていく責務を感じております。

ただ、今までですと所属会員学会の事務局へ行けば「横幹」を書架から手に取る機会もあったことでしょう。これからは積極的にアクセスしない限り目に触れる機会はありません。そこで、各会員学会のホームページにてJ-STAGE内の「横幹」トップページへのリンクを設定して下さいをお願いします。

会誌編集委員長 松岡 猛 (宇都宮大学)

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合 (横幹連合)】

#### □ 2015 年度役員

会 長	出口光一郎 (東北大学)	
副会長	遠藤 薫 (学習院大学)	船橋誠壽 (北陸先端科学技術大学院大学)
理 事	青柳秀紀 (筑波大学)	岩崎 学 (成蹊大学)
	庄司裕子 (中央大学)	清野武寿 ((株)東芝)
	平原裕行 (埼玉大学)	松岡 猛 (宇都宮大学)
	水野 毅 (埼玉大学)	山崎 憲 (日本大学)
	六川修一 (東京大学)	大場允晶 (日本大学)
	木全 晃 (香川大学)	佐藤 誠 (東京工業大学)
	杉本謙二 (奈良先端科学技術大学院大学)	鈴木久敏 (筑波大学)
	西村秀和 (慶應義塾大学)	藤井 享 ((株)日立製作所)
	藤本英雄 (名古屋工業大学)	松岡由幸 (慶應義塾大学)
	皆川健多郎 (大阪工業大学)	三藤利雄 (立命館大学)
監 事	木村忠正 (電気通信大学)	安岡善文 (東京大学)

#### □ 2015 年度会誌編集委員会

委員長	松岡 猛 (宇都宮大学)	
副委員長	三藤利雄 (立命館大学)	
委 員	青柳秀紀 (筑波大学)	庄司裕子 (中央大学)
	水野 毅 (埼玉大学)	木全 晃 (香川大学)
	杉本謙二 (奈良先端科学技術大学院大学)	藤井 享 ((株)日立製作所)
	穴太克則 (芝浦工業大学)	加藤健郎 (慶應義塾大学)
	金子勝一 (山梨学院大学)	玉置 久 (神戸大学)
	渚 勝 (千葉大学)	三宅美博 (東京工業大学)

## ■横幹技術協議会の主な活動実績 『横幹技術フォーラム』

横幹連合との共催で定期的開催している「横幹技術フォーラム」では、複合的視点を必要とする企業課題への技術情報を提供しております。

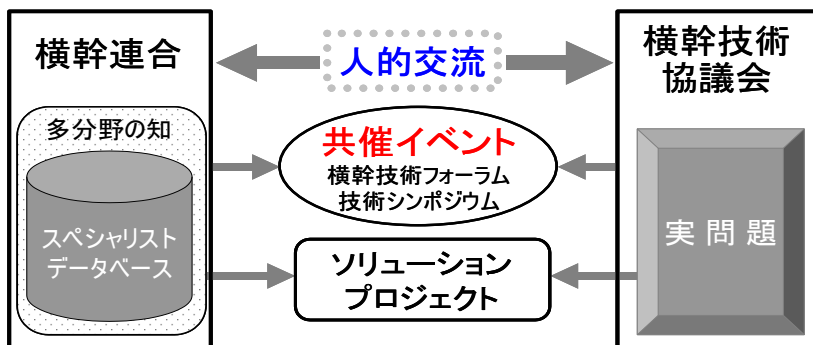
＜過去のフォーラム実績＞

- 第22回 経営の高度化シリーズ：第4回 経営シミュレータとその課題
- 第23回 社会・経済・金融を理解する数理工学の展開
- 第24回 21世紀のモノづくり革新をめざして
- 第25回 3Dとバーチャルリアリティの最近の展開
- 第26回 シンポジウム「知の統合」に向けて～社会的役割と具体的事例～
- 第27回 将来社会創造アプローチの展開(1)～未来構想立案の実践と手法～
- 第28回 将来社会創造アプローチの展開(2)～市民との対話による構想立案～
- 第29回 知の新しい活用法を求めて～実践と理論の連携～
- 第30回 知の統合による経営の高度化に向かって～未来経営の構想と技術課題
- 第31回 企業における事業継続計画(BCP)の必要性
- 第32回 情報共有による社会インフラの強靱化～システム技術の新たな挑戦課題～
- 第33回 強いぞ！日本  
～社会情報学の視点から東日本大震災からの復旧・復興を考える～
- 第34回 東日本大震災からの復興支援現場における支援活動  
～次世代に向けた日本の街づくりとして我々は何ができるのか～
- 第35回 エネルギーマネジメントの新しい局面～社会システムの構築段階を迎えて～
- 第36回 アート・デザイン・テクノロジー～近くて遠いその関係～
- 第37回 「未来学」の過去・現在・未来
- 第38回 サービス学の成立 ～サービス科学・サービス工学の発展を受けて～
- 第39回 社会システム論で社会を読み解く
- 第40回 社会デザインのためのエージェントベースシミュレーション
- 第41回 社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～
- 第42回 数学と産業の協働、データサイエンティストの育成  
～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～
- 第43回 経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察
- 第44回 ロボット活用社会の新潮流
- 第45回 システムデザイン力を展望する
- 第46回 第6次産業への取り組み－複数システムの連携による価値構築－

※過去のフォーラムプログラムはHP(<http://www.trasti.jp/about.html#forum>)をご覧ください。

## ■企業の課題解決支援（プロジェクト活動）

企業が抱える実問題に対し、他分野の専門家が共同してプロジェクトを組みソリューションを追求するもので、さまざまな要素が絡み合う複雑な課題へアプローチする、新たな産学連携の仕組みとして注目されています。横幹技術協議会では、中核会員企業に初期のフィジビリティスタディ段階のサービスを提供しています。



統合知による産業力強化を推進



横断型基幹科学技術推進協議会

会長 桑原 洋

日立マクセル(株)名誉相談役  
元 内閣府総合科学技術協議会協議員

横断型基幹科学技術推進協議会（略称：横幹技術協議会）は、企業を会員として横幹科学技術の推進活動を行っています。

「学」を中心とする横幹連合と、「産」を主体とする横幹技術協議会は互いに緊密に連携しながら、横幹科学技術を推進し、産業活動に生かすためのさまざまな活動を行っています。横幹連合と横幹技術協議会は、車の両輪として、横幹科学技術の学としての深化と社会への活用に取り組んでいます。

（設立：2004年5月）

## ■参加会員（2016年4月現在）

【中核会員】  
株式会社 日立製作所

【一般会員】  
鹿島建設 株式会社  
三菱重工業 株式会社

# 横断型基幹科学技術推進協議会

Transdisciplinary Science and Technology Initiative

TEL&FAX:03-3814-4130 URL: <http://www.trasti.jp/>